

新緑の爽やかさ

木村佳司

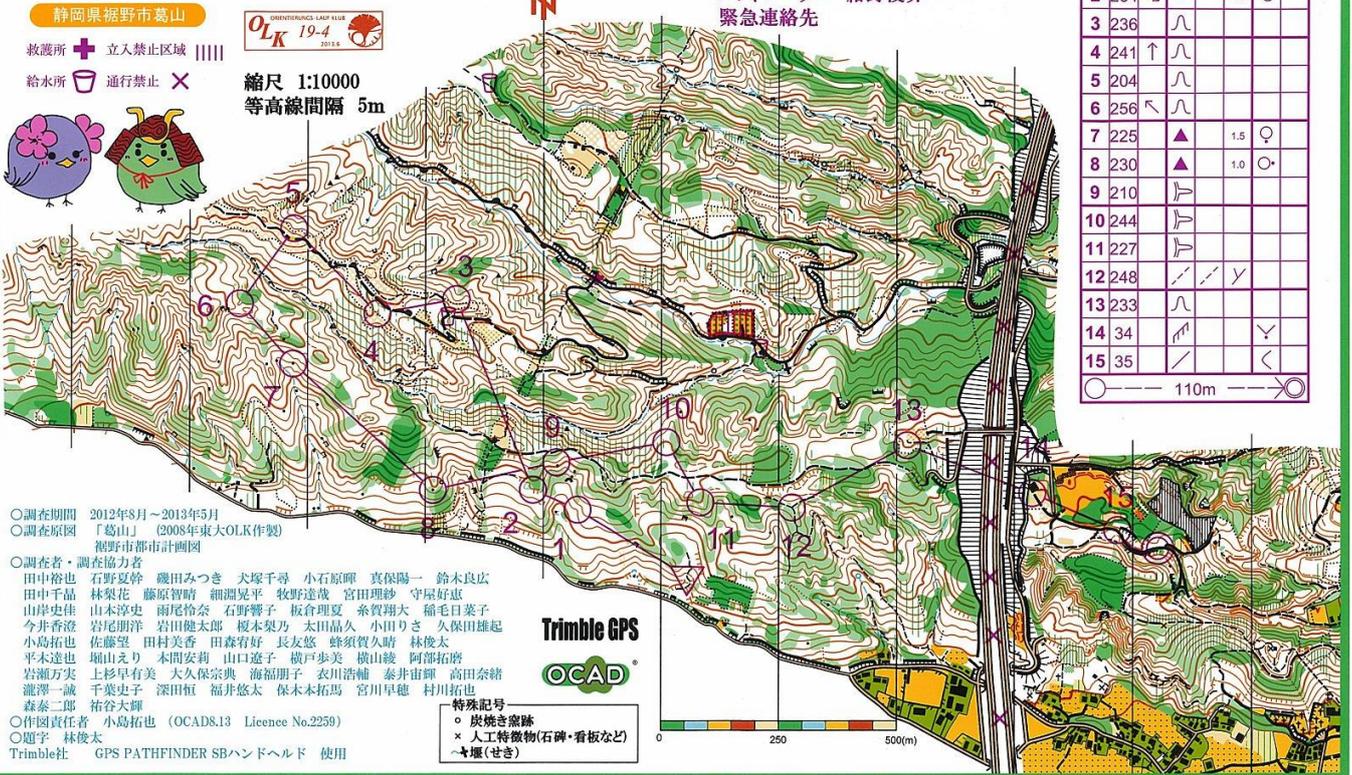
東大 OLK オリエンテーリング大会 2013年6月9日 静岡県裾野市

裾野 ~もののふの里~

第35回東大OLK大会

2013年6月9日(日)
大会責任者 糸賀翔大
コース設定者 岩田健太郎
コントローラー 紺野俊介
緊急連絡先

		M50A	
		3.7km	165m
▷		/	<
1	253	/	
2	264	∨	1.0 ○
3	236	/	
4	241	∧	
5	204	/	
6	256	/	
7	225	▲	1.5 ♀
8	230	▲	1.0 ○
9	210	▷	
10	244	▷	
11	227	▷	
12	248	/ /	Y
13	233	/	
14	34	∧	∨
15	35	/	<



筆者の参加した M50A のコース図。尾根を辿るコース設定となっている。険しいテレインにも関わらず、アップダウンが抑えられていた。爽やかに駆け抜けることができた。

瑞々しい新緑のような好印象の大会だった。

2013年6月9日(日) 静岡県裾野市
東大 OLK 大会

ME 結果

1	寺垣内航	1:12:26	京葉 OLC
2	谷川友太	1:15:24	OLC ルーパー
3	結城克哉	1:15:57	鞍部同好会

WE 結果

1	田島利佳	1:18:26	みちの会
2	加納尚子	1:19:33	朱雀 OLC
3	高橋美誉	1:27:27	岩手大学 OLC

各クラス優勝者

W21A	守屋舞香	椋山女学園
WAS	田島聖子	杏友会
W60A	若梅節子	横浜 OLC
W50A	植松裕子	人間学 OLC
W43A	丸山由美子	みつけ OLC
W35A	宮川祐子	ES 関東 C
W20A	西澤奈美	京大 OLC

W18A	宮本和奏	京葉 OLC
W12	丸山里那子	みつけ OLC
WF	本間実季	東北大 OLC
M21A1	田邊拓也	養鶏 OLC
M21A2	藤村 陸	早大 OC
MAS	大嶋拓実	やる気!
MASS	村越 怜	日本ポッチ大学
M70A	小幡昭次	三河 OLC
M60A	高野政雄	多摩 OL
M50A	木村佳司	長野県協会
M43A	奥村理也	ウルトラクラブ
M35A	源後知行	みちの会
M20A	本山翔太	KOLC
M18A	柴沼 健	桐朋 IK
M15	浜口 哲	桐朋 IK
M12	照井壮太	横浜 OLC
MF	橋本正毅	東北大 OLC
BL	宮崎大地	やる気!
BS	成川研介	こまどり

北東 Ms	杉村俊輔	東北大 OLC
北東 Ws	關明日香	岩手大学 OLC
北信越 Ms	山本遼平	新潟大学 OC
北信越 Ws	横山理恵	金大 OLC

定番大会、今年は無事開催

6月には東大 OLK 大会。オリエンテーリングの世界では定番のスケジュールだ。しかしながら学生オリエンテーリングクラブが毎年決まった時期に定例的に競技会を開催しているのはもはやこの東大 OLK 大会のみとなっている。

東大 OLK は東京にあるいくつかの大学の学生が連合した複合大学クラブ。中心となるのはインカレ上位の常連校でもある東京大学だ。

昨年群馬県で行われた東大 OLK 大会ではクマ出沒により、レース途中で大会中止となった。今年は全競技無事実施されて表彰式まで実施された。

爽やかな印象

東大 OLK 大会の印象は今年も爽やかだった。まず学生たちが大会の成功に向かってひたむきに運営する姿が爽や

かだ。今回は地元売店が会場に出店していたことも好印象。カキ氷や弁当、お土産も賑わっていた。

天候も爽やか。うす曇りでこの時期にしては涼しい空気。レースコンディションとしてよかった。10年ほど前に同じこの裾野のトレインで開催された東大 OLK 大会で、私はレース途中で脱水症状になりかけて途中棄権している。この時に比べれば遥かに爽やかな天候だった。

トレインが爽やか。ヤブの草もまだ伸び切っていない季節だ。基本的に通行可能度の高いトレイン。

コースが爽やか。起伏の大きいトレインだが、私の出場した M50A クラスは基本的に尾根をトレースするコース回しとなっていて、登りが抑えられている。

変化するトレイン

歴代の東大 OLK 大会で使われてきた静岡県裾野市の葛山城跡付近のトレイン。第二東名自動車道の建設に伴ってトレインも姿を変えてきた。

10年ほど前の東大 OLK 大会では、第二東名自動車道なんてまだまだ夢の話だった。それが5年ほど前の東大 OLK 大会では大規模な土木工事が実施されている現場の上空を競技中に走りながら見ることになる。そして今回の東大 OLK 大会では、営業を開始した第二東名自動車道をビュンビュン自動車が走るのを見下ろしながらレース中に橋を渡った。

確かにトレインは大きく変化し、使えなくなった場所もあった。しかしまだオリエンテーリングに適した森が大きく残っている。



6月でも通行可能度の高い森が広がる東大 OLK 大会のトレイン (上林氏撮影)

オリエンテーリングは面白い

素晴らしいトレインとコース、競技環境に恵まれた東大 OLK 大会。集中して望んだレースは面白かった。走りやすいトレイン、よく調査された地図、ミドルレースのようなコース設定。

自分自身は、こここのところよく走れているようで、意識的にピッチを上げた走りを行う。リスクとゲインのせめぎ合いの中で突っ走る。倒木が多い地帯では、ボディバランス良く、しなやかに走ることを心がける。トレインと選んだスタッドシューズの相性が良いのか、グリップよくレースが進む。ナビゲーションと走力とマテリアルが今のレベルで噛み合ったレース感覚だった。



(上林氏撮影)

学生組織の活動

毎年、東大大会の前日に、日本学生オリエンテーリング連盟の幹事会が開催されている。今年は三島市で開催された。筆者も日本学連理事としてこの会議に参加した。日本学連は年間数回の幹事会を行って、さまざま話を話している。日本学連が日本の学生を代表する組織として長い間機能し続けているのは、このように全国の幹事が顔を突き合わせて話し合いを行っているから。

学連幹事は1年任期でどんどん人が入れ替わってゆく。そうした中で長期間にわたる事案を引き継いでゆくののがOB組織である学連理事の役目だ。

今回の学連幹事会では日本学連のJOA加盟について話し合われた。今のところ平成26年度から日本学連もJOAの加盟団体となる方向で活動を続けている。

ホタル舞う三島

東大大会前日、学連幹事会が終わった夜、三島市街地に学連幹事を引き連れて繰り出した。

ちょうど6月8日(土)は三島市のホタル祭り。富士山の湧水が溢れる三島市街地はキレイな水が流れている。そこに毎年ホタルが発生する。何年かぶりにホタルが舞うのを観た。学生の中には初めてホタルを観る者もいた。

ただ、ホタルより遥かに多い人混みも同時に見た気がする。

マニアには堪らない山中城

もうひとつ、土曜日の観光の話しよう。東大大会の前日に三島市の箱根山中にある「山中城」を訪れた。「山中城」は戦国時代に北条氏によって築かれた山城。発掘調査の結果、戦国時代の山城の遺構が多数発見されている。現在は古城公園として整備されている。

だがその面積は広い。ゆっくりと見学するだけでたっぷり2時間かかった。当時の山城は立派な天守閣などなく、単に山を土木工事して作成された要塞である。戦時の攻防を想定して、天然の地形にいろいろ手を加えて複雑な地形を人工的に作り上げている。

ここでスプリント0用の地図を作成すればさぞかし面白いコースが作れるだろうな。そんなことが頭の中をぐるぐる回りながら、城跡をゆっくりと見学した。

(木村佳司)